I　女性として科学者として

運命を決定した偶然……11
非国民といわれて……13
研究生活をふりかえって……16
学術会議会員選挙に立候補して……19
立候補から当選まで……23
学術会議会員になって……26
――『経済』誌でのインタビュー――
女性科学者にひとすじの光を……34
――「女性科学者に明るい未来をの会」創立――
男女の平等……40

婦人研究者の地位向上のために……43
婦人研究者の未来をきりひらくために……46
科学技術と婦人の役割……48
——第一回国際婦人科学技術者会議、ニューヨーク——
女子の理科教育……56
科学者のなかの男女差別……61
——アメリカでも同様の実態——
低い女性科学者の地位……64
——アメリカ微生物学会の調査——
日本婦人科学者の会……68
——その一、創立とその後の活動——
日本婦人科学者の会……76
——その二、創立二〇周年を迎えて——
婦人研究者の地位向上シンポジウム（日本学術会議主催）……82
婦人研究者の地位向上……93
——男女平等の具体的政策すすめよ——

婦人研究者は被抑圧者……96
清らかな強さ――猿橋勝子さん〔平塚らいてう〕……99
〈科学者〉猿橋勝子〔三宅泰雄〕……102

II　平和のために

科学者の狂態……107
第五福竜丸の被災から一〇年……111
放射能雨と私たちのくらし……115
黒潮海域の放射能汚染……123
地表面にもたまる放射能汚染……127
いわゆるクリーン・バムからの放射能……132
核爆発はかくせない……134
婦人科学者は叫び続ける……137
――核兵器が無くなるまでは――

世界の平和のために……140
——第四回世界婦人集会に出席して——
道場やぶり・現代版……146
核兵器と科学者の責任……148
核兵器全面禁止と科学者の責任……150
——浅見善吉氏（科学評論家）との対談——
放射性物質の海洋投棄問題……179
放射性廃棄物の海洋処分をめぐる状況……182

Ⅲ　世界の人びとと

ユーリー先生を囲むお月見……189
ユーリー先生ご夫妻を訪ねて……191
タンプスン先生とレイクストロウ先生……193
アメリカの婦人科学者……197
外国への旅……199

ラホヤ、ヒューストン、パリ……201
パリ祭と紙くず……206
チューリッヒの美しい空……211
フローレンス、ミラノを訪れて……214
——四つのピエタ——
ウィーンにて……216
ベルリンを訪れて……220
ソ連の芸術と大衆……223
シベリアの町……225
初出一覧
あとがき
あとがき　その二
年　譜